

科目名	コンピュータ利用技術 I	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Computer Use Skills I	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	たきもり たけし	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	瀧 森 威	修得単位	2単位
授業のテーマ	IT (情報技術) や情報通信の発展のおかげで、飛躍的に便利になったが、一方でIT基盤を脅かす脅威が存在している。この脅威についての知識・現状を修得し、対応できるようになる。また、高度なWord利用ができるようになる。		
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1. 情報倫理や情報セキュリティの知識や現状、対策を修得し、高度情報化社会での脅威に対する対応ができるようになる。 2. 高度なWordの利用方法を修得し、効率のいいビジネス文書や論文作成、差し込み印刷等の技法ができるようになる。		
授業概要	コンピュータ入門で学習した内容をもとに、実社会で対応する情報の知識と実践的な能力を身につけます。前半は、コンピュータやネットワークに関わる情報倫理や情報セキュリティについて、ビデオ等事例を見ながら解説し、後半は前期に学習したWordの応用的な使い方について学習する。		
授業計画			
第1回	情報と情報社会の特徴、情報の受信・発信と個人の責任		
第2回	個人情報と知的財産		
第3回	電子メールやWebページによる情報の受信・発信、ネット上のコミュニケーション		
第4回	社会生活における情報、身近な生活における情報		
第5回	ネット社会におけるトラブルと犯罪		
第6回	今日のセキュリティリスク、危険の認識と対策		
第7回	情報セキュリティとは、外部のリスク要因		
第8回	内部のリスク要因、情報リテラシーと情報倫理		
第9回	マルウェア、共通の対策		
第10回	標的型攻撃と誘導型攻撃への対策、フィッシング詐欺への対策、ワンクリック請求への対策、スマートフォンの脅威と対策、無線LANに潜む脅威と対策		
第11回	組織の一員としての情報セキュリティ対策		
第12回	Wordの高度な利用法① (ビジネス文書の作成)		
第13回	Wordの高度な利用法② (表現力のある文書の作成)		
第14回	Wordの高度な利用法③ (長文のレポート編集、差し印刷処理)		
第15回	Wordの高度な利用法④ (数式ツール、差し印刷)		
第16回	試験		
授業時間外の学習	1. 前回の復習 (0.5時間程度) をしてから、次回の授業に備えてください。 2. 授業前に教科書の該当箇所に必ず目を通してください。 分からない用語は、聞き逃さないようにノートにまとめておいてください。(0.5時間程度) 3. コンピュータ入門で学習した内容がもとになりますので、不得手な分野は確実にしておいてください。		
履修条件 受講のルール	学籍番号 190001~190069 の学生及び過年度生向け講義となります。コンピュータ入門の単位を修得していることが望ましい。教科書は必ず購入してください。適宜資料を配布しますが、欠席した学生は配布資料の有無を確認し、研究室まで取りに来てください。		
テキスト	インターネット社会を生きるための情報倫理 実教出版 (本体 400 円 税別) IT時代の危機管理入門 情報セキュリティ読本 四訂版 実教出版 (本体 500 円 税別)		
参考文献・資料	コンピュータ入門で使用したテキスト 情報リテラシー 2013 対応 FOM出版 (本体 2,000 円 税別)		
成績評価の方法	試験 60%、授業中に与える実習及び演習課題等 40%、総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・課題は必ず提出することが前提で、授業内又は掲示板で指示します。		
オフィスアワー	毎週金曜日 10:40~12:10、13:00~14:30 これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。		
成績評価の基準	平成 28 年度 (2016) 以降入学した学生 秀 (100~90 点)、優 (89~80 点)、良 (79~70 点)、可 (69~60 点)、不可 (59 点以下) 平成 27 年度 (2015) 以前入学した学生 優 (100~80 点)、良 (79~70 点)、可 (69~60 点)、不可 (59 点以下)		
学生へのメッセージ	情報セキュリティの知識はとても重要な内容となっているので、しっかりと身に付けてください。また、課題は必ず提出することが前提となります。自分の力で努力して提出してください。		

